

經濟論叢

第九十五卷 第三號

経営理念について 田 杉 競 1

戦後日本の社会諸階級と軍隊 大 橋 隆 憲 15

ドイツ民主共和国における過渡期
経済の若干の問題について 金 鍾 碩 39

オートメーションと間接的生産労働者 (2) 小 谷 節 男 61

昭和四十年三月

京都大學經濟學會

京 都 大 学 経 済 学 会 規 則 (抜 萃)

- 第2条 本会は下記の会員をもって組織する
- (イ) 正 会 員 京都大学経済学部教授、助教授、講師、助手および同学部出身者
- (ロ) 学生会員 京都大学経済学部学生
- (ハ) 賛助会員 本会の事業を賛助する者
- (ニ) 名誉会員 京都大学法学部教授、助教授、講師
- 第3条 前条のほか所定の会費を納めて「経済論叢」の頒布を受ける個人および団体は購読会員とする
- 第4条 特別の場合に限り前2条に定められた会員以外の者も本会員に準ずる取扱いをする事ができる
- 第6条 本会は下記の事業を行う
1. 機関雑誌「経済論叢」を発行すること
「経済論叢」は毎月1回発行する、但し臨時特別号を発行することがある
 2. 「経済学研究叢書」を発行すること
 3. 毎月1回学術研究会を開催すること
 4. 毎年1回公開講演会を開催すること
- 第9条 会員には雑誌を配布する、但し臨時特別号はこの限りではない
- 第10条 会員は下記の会費を納めなければならない
- | | |
|---------------------|-----------------------|
| (イ) 正 会 員 年額 1,000円 | (ハ) 賛助会員 年額 10,000円以上 |
| (ロ) 学生会員 年額 1,000円 | (ニ) 購読会員 年額 1,000円 |

— 既 刊 目 次 —

第 95 卷 第 1 号

静 田 均 教授記念号	
献 辞	堀 江 英 一
資本蓄積による構造変化	岸 本 誠 二 郎
現代の国際通貨制度	真 藤 素 一
アメリカセメント工業の基準地点制について	越 後 和 典
アメリカ自動車工業の競争構造における	岡 田 賢 一
フォード自動車会社の成長形態	
アメリカ石油業における近代的精製技術の	松 井 哲 夫
発展過程	
1890年代ロシア資本主義論争における思想と経済学	田 中 真 晴 二
ドイツ石炭鉱業における賃銀形態	大 野 英
静 田 均 教授略歴・著作目録	

第 95 卷 第 2 号

戦後海上運賃の循環変動	山 田 浩 之
アメリカ経営学的方法的反省と経営学本質論(2)	山 本 安 次 郎
ケインズの価格論	瀬 地 山 敏
寡占と「差額地代」的価格原理(2)	大 崎 正 治

執筆 者 紹 介

(掲載順)

田	杉	競	京都大学教授
大	橋	隆 憲	京都大学助教授
金	鍾	碩	京都大学元大学院学生
小	谷	節 男	京都大学大学院学生

~~~~~  
会員各位へ~~~~~ 会費は下記あて御納入下さるようお願いいたします。

1. 会費納入先 京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部内  
京 都 大 学 経 済 学 会  
振替口座 大阪50539番
1. 会費年額 1,000円 (前納)
1. 会員各位の本籍, 現住所, 氏名, 出身高校名, 卒業年次, 就職先を  
学会まで御通知下さい。
- ※ 会員外の雑誌購入は有斐閣へお申込み下さい。

## 予 告

本学会の規則第10条中, (i)正会員, (ii)学生会員, (iii)購読会員についての会費規程を,  
昭和40年度(昭和40年4月1日~)より, 年額1,000円を1,500円に改めます。

昭和40年2月25日印刷  
昭和40年3月1日発行

編 集 兼  
発 行 人

小 松 勇 吉

印 刷 所

中 村 印 刷 株 式 会 社  
京都市下京区七条御所ノ内中町50

発 行 所

京 都 大 学 経 済 学 会  
京 都 市 左 京 区 吉 田 本 町  
振 替 口 座 大 阪 5 0 5 3 9 番

定 価 150 円

発 売 所

株 式 会 社 有 斐 閣  
本 社 東 京 都 千 代 田 神 田  
神 保 町 2 丁 目 17 番 地  
京 都 支 店 京 都 市 左 京 区 北 白 川  
農 学 部 電 停 前

# Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

---

Vol. 95, No. 3

March 1965

---

## CONTENTS

A Philosophy of Management.....*Kisou TASUGI*

The Social Classes and the Military in  
Post-war Japan.....*Ryuken OHASHI*

Some Economic Problems in the  
Transition Period of GDR.....*Jong-Shek KIM*

Automation and Indirect Productive Worker (2).....*Setsuo KOTANI*

---

Published  
by

**KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI**  
(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)